

V I P D a t V i e t 日本語訳

「とにかく一度ベトナムに来てみてください。」

この言葉は日本の東京に本社を置くブレインワークスアジアの近藤昇社長がよく使う台詞だ。ベトナムにビジネスチャンスを探しに来るのを躊躇する日本の顧客に対して、このように伝えているという。

ベトナムで行っているプロジェクトや事業を通じて、近藤社長は日本企業とベトナム企業の架け橋として活躍している。

■新しいチャレンジを受け入れること

ブレインワークスアジアは1997年よりベトナムで活動を行っている。同社はタイ、中国、韓国、台湾で事業を行っていた経験があるにもかかわらず、ある友人からの進言に影響され、よりエキサイティングなビジネスチャンスを求めて、10年以上も前に、当時何も知らなかつたベトナムに進出することを決めた。そして、自分自身に新しい環境にはかならずチャンスがあると言い聞かせてきた。

「どうしてそんなに長くベトナムにいれるのですか。」という多くの人々からの質問に対して彼は笑いながら「ベトナムが好きだからですよ。」と答えてきた。

近藤社長によれば、日本の起業家は新市場や特にベトナムのような新興国など事情のわからない新しいものへの投資に躊躇していることが多いと言う。このような企業が多いなか、日本企業のアジア進出コンサルティングを手掛けるブレインワークスの役割は大変重要なものになっている。それは、ブレインワークスアジアが培ってきた経験や情報が豊富だからだ。

近藤社長は新しい土地へなかなか飛び込めない経営者たちにいつも「とにかく一度ベトナムに来てみてください。」と強調している。

「経営者の方々にどう説明すればよいかはわからないのですが、初めてベトナムに来るのはただ私の好奇心に過ぎません。新興国での新しいビジネスチャンスを見つけ出したかっただけなのです。ベトナムの地に降り立ち、多くの人々と話をすると、ここでビジネスを成功させようと決意しました。今、私はここで仕事をできて幸せですし、満足です。私がベトナムへの進出を支援した企業の多くはベトナムを好きになり、ビジネスを続けています。そんな企業を後に続く企業が見ることにより、自分たちのビジネスのイメージもできます。そして、ベトナムへの投資を続けるわけです。」

■笑顔で挨拶を

ブレインワークスアジアの仕事はベトナムへの進出を希望する企業への情報提供、またIT、食品、文化、農業などのフィールドへの投資の支援を行っている。そして、同社は日本の文化をベトナムへ伝える架け橋としての役目も担っているのである。

近藤社長にベトナム料理で何が印象的だったかたずねるとすぐに笑いながら何の躊躇もなく、「ワイン！」と答えた。

「ベトナムのワインは日本酒よりも強い。」と彼は言う。

近藤社長のフランクで情熱的な人柄によって、私たちの話はよりエキサイティングなものになった。日本企業がベトナムで拠点を作り、成功するための支援を行っていく中で、近藤社長は次のように振り返る。

「ベトナムは税金も妥当で、手続きも複雑でない。そのためビジネス環境はとても良いですよ。ただ一つ問題なのは、タンソンニヤット国際空港に降り立った際、日本のビジネスマンが抱く第一印象です。」

彼によれば、日本からの長いフライトの後、ほとんどの人はベトナム人から歓迎されつつ、ホテルに向かいたいと思っている。しかしながら現実は、無愛想な顔でのろのろと働き、必要か否かわからない書類の提出を求めてくる入国管理官たちに迎えられているのである。

「もしベトナムへの第一印象が良ければ、日本人客は快適に思うはずですが、現実は正反対の経験をしています。」

同社のベトナムにおける実績は大きく評価され、日本の経済産業省が推進する「クール・ジャパン戦略推進事業」に採択された。この事業の中で、ブレインワークスは日本の文化、食などをベトナムに紹介している。特に2013年は日越国交樹立40周年を記念したイベントが開催される予定であり、双方にとって重要な年となるだろう。40周年イベントのさきがけに、近藤社長は「架け橋」の役割として、「知られざる日本」をテーマに日本物産館（ホーチミン市の7区・フーミーフン地域）をオープンした。

近藤社長の出身地である徳島県の物産にスポットライトをあてて、キャンディ、ラーメンなどの日本の一般的な食品や衣類なども展示している。現在、日本の2つの地域が物産を販売しており、将来的には日本の各地域が参入する予定である。特に、徳島県のユニークな製品は、日本文化や日本食に興味のある多くのベトナム人を魅了し続けることが予想される。2013年1月末までにはイベントなどで披露するべく、有名な「阿波踊り」の団体をベトナムに招く予定だ。

最後に近藤社長はこう意気込む。

「徳島県民全員をベトナムに連れてきたいですね。」

以上